

1 学力向上検討委員会構成 全教職員

2 現状・課題

学

・昨年度は、「自ら考え、判断して、表現する力を育成する。」という重点課題を策定し、具体的目標として、「『聞く』・相手の考えを聞き取る力を身に付けさせる。」「『話す』・根拠や理由をはっきりさせて場に応じて自分の考えを相手に伝える力をつける。」「『書く』・発達段階に応じて、自分の考えを入れた文章を書くことができる。」の3点を具体的目標として学力の向上に取り組んできた。

カ

・「平成19年全国学力・学習状況調査」の本校の結果を県のデータと比較すると、

国語では

○「知識」に関する問題が、県の平均正答率より低い。特に「話すこと・聞くこと」の領域において、聞き方（話の要点を聞き取り、効率よくメモを取る）や話し方（聞き手にとって分かりやすいスピーチにするために大切なことを理解していること）の理解に課題がある。また、言語についての知識・理解・技能においても、指示語の内容（指示語の働きを理解していること）の理解に課題がある。

○「理解」に関する問題においては、すべての領域において県平均を大きく上回っている。しかし、この中で、文章とグラフにまとめられた事実を関連づけて読む問題においては、理解にかなり課題がある。

算数では

○「理解」に関する問題においては、すべての領域において県平均を大きく上回っている。しかし、この中で、文章とグラフにまとめられた事実を関連づけて読む問題においては、理解にかなり課題がある。

○「知識」に関する問題では、県の平均正答率と同じ結果であった。この中で「図形」の領域において「三角形の和」や「平行四辺形の定義や性質の理解」に関する問題の理解に課題がある。

○「活用」に関する問題では、県平均を大きく上回っている。しかし、個々の問題をみると、「問題の条件を整理して、筋道をたてて考える」問題において、理解に課題があることが分かった。

上記の重点課題「平成19年全国学力・学習状況調査」の本校の結果を考慮して取り組み、子どもたちについての学力については、

『聞く』分野において

〈低学年〉

・徐々に友だちの話が聞けるようになってきており、友だちの意見にも、うなずいたり、「同じです」「ちがいます」等の反応ができるようになってきた。また、読み聞かせや、指導者の話を、集中して聞けるようになってきた。

〈中学年〉

・相手をよく見ながら話を聞くことができるようになってきた。
 ・1分間スピーチや道徳の授業において、自分の経験を話すことにより、聞く側も興味を持ち、自分の経験と重ねて聞くことができ、それに意見を返すことにより、深くとらえようとするようになってきた。

〈高学年〉

・「相手を見て聞く」「うなずきながら聞く」「朝会、朝の会などで聞いた話の内容を話すことができる」ようになってきた。

・相手（話をしている人）のことを思いやる気持ちを意識することにより、より聞くことができるようになってきた。

『話す』分野において

〈低学年〉

・授業中には、「です」「ます」を使って発表し、発表後には聞き手の反応を促すように「どうですか?」と自分の意見について、問いかけることができるようになってきた。

また、徐々に、「そのわけは」と付け加えて言ったり、「〇〇さんとよくにて」と友だちの意見と比べて言えるようになりつつある。

・自分のしたことを思い出して、順序よく話すことができるようになってきた。

〈中学年〉

・多くの人の前で、自分の意見をはっきり話すことができるようになってきた。

・時と場に応じて、話し方を使い分けることができるようになってきた。

・いろいろな教科で、グループ活動を取り入れることにより、相手を意識して話せるようになってきた。

・算数などで、自分の考えを説明する機会を作ったことで、聞き手にわかりやすい順序で、言いたいことを組み立てようという意識が出てきた。

・朗読発表会を通して、話すことがらについて見直し、より分かりやすいものにしていこうとすることができた。

〈高学年〉

・他の意見に対して、自分なりの考えや感想が言えるようになってきた。

・話し合いのときに、周りの意見を聞いて、それに対して自分の意見を持って臨むことができるようになってきた。

・発表の仕方を意識させることにより、自分の考えをうまく伝えることができるようになってきた。

『書く』分野において

〈低学年〉

・日記を、一日1ページ以上書ける子どもがほとんどになってきた。

・作文を書くとき、指導者がモデル作文を書くことにより、子どもたちが、作文嫌いにならずに、意欲を持って書くことができるようになってきた。

・原稿用紙を使った視写を取り入れることにより、正しい文字の使い方、原稿用紙の使い方、良い文章のモデルを、自然にまねることができるようになってきた。

・様子や思ったことが入った、読み手に伝わる分かりやすい文章が書けるようになってきた。

〈中学年〉

・書く作業を多く取り入れることにより、だんだんと考えながら書くことができるようになってきた。

・視写することにより、書くことに対して自信が出てきた。

・作文集や朗読発表会の準備をしていく際に、より分かりやすい文章に推敲していくことができた。

〈高学年〉

・日記の文章が長くなってきた。

・話題の中心を決めて書けるようになってきた。

・常体、敬体を区別して書けるようになってきた。

・書くことにより、聞くこともできるようになり、それが話すことにもつながってきた。

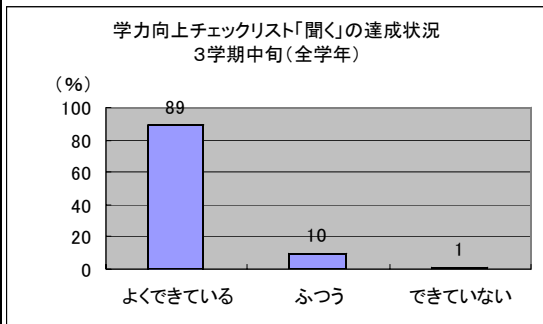
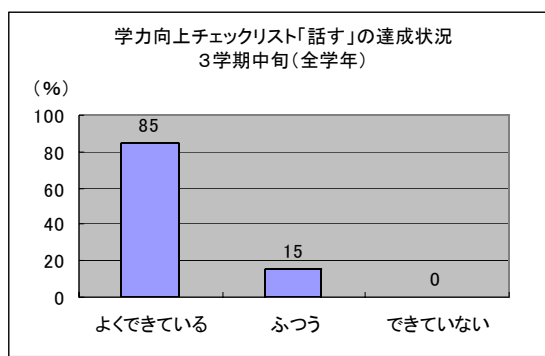
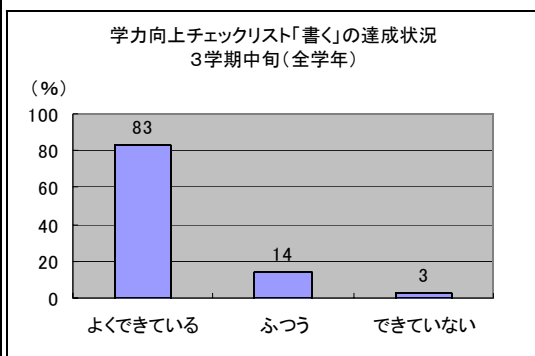
学習
状況

「国語能力チェック表」を活用し、1学期と3学期にチェックリストの評価を行った。個々の児童において年度末に年度当初よりも2ポイント以上上げるようにすることを達成目標とした。

その結果

○全児童が、チェックリスト「聞く」「話す」「書く」3分野のすべてにおいて、2ポイント以上あげることができた。

○次のグラフのように、「聞く」「話す」「書く」3分野のすべてにおいて、「よくできている」項目の児童が80%を超えていることが分かる。



(H20.2 中旬実施)

学習面での課題

『聞く』分野において

- ・正しい姿勢で聞けるようにしていきたい。
- ・誠意を持って、話し手を見て聞けるようにしていきたい。
- ・一度で聞き取れるようにしていきたい。
- ・内容をまとめながら聞けるようにしていきたい。
- ・メモを取りながら聞けるようにしていきたい。(高学年)

『話す』分野において

- ・時と場に応じた正しい言葉遣いができるようにしていきたい。
- ・挨拶するときや、会話するとき、授業中などに、相手を見て話すことができるようにしていきたい。
- ・自分の考えをしっかりと持ち、それを分かりやすく話すことができるようにしていきたい。
- ・よく考えながら、相手の話を聞き、それに対しての自分の考えがしっかりと言えるようにしていきたい。

『書く』分野において

- ・指導者がは、文章を書く目的の設定をきちんとしてやり、子どもたちは、自分の思いや考えをしっかりと持ち、相手に分かりやすく伝えることができる文章を書けるようにしていきたい。
- ・構成のしっかりした説明文が書けるようにしていきたい。

『読む』分野において

- ・「読み聞かせ」「本の紹介」などにより読書に関心を持たせ読書量を増やしたり、読書の質をよくしていきたい。

生活面での課題

- ・「早寝」「早起き」「あさごはん」「きもちのよいあいさつ」が実践できるようにしていきたい。
- ・好き嫌いなくバランスのよい食事ができるようにしていきたい。
- ・学習用具を忘れないようにしていきたい。
- ・宿題（家庭学習）がきちんとできるようにしていきたい。
- ・ゲームの時間が決められるようにしていきたい。

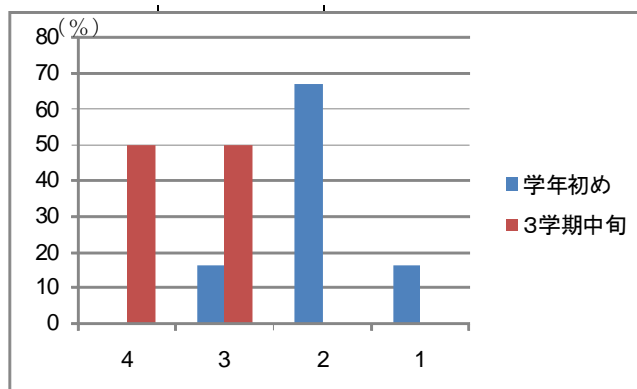
3 目標等

(1) 学力について

重点目標：根拠や理由を明らかにして，自分の考えを表現する力を身に付けさせる。

具体的目標	数値目	評価	年度当初に設定した 具体的方策	現段階での課題と 今後の改善点
<p>・各教科の授業において，文章やその他の資料について考え，自分の考えを話したり書いたりする場を設ける。</p>	<p>・表現力（「話す・書く」）を評価するためのチェックリストの評価を，個々の児童において，年度末には，年度当初よりも2ポイント以上上げる。</p>	<p>④・3・2・1</p>	<p>・ドリル学習の発達段階別プリントの内容に，基礎・基本的なものだけでなく，読解力・判断力・思考力を要するようなものを入れる。</p> <p>・視写を学習活動に取り入れたり，ノート指導を見直したりする，継続的な指導を重視する。</p> <p>・各教科の授業において，根拠を明らかにして，自分の考えが適切に相手に伝わるように話したり書いたりする。</p> <p>・司会者の役割や話し合いの進め方を理解させるため，学習の手引きを活用する。</p>	<p>（低学年）</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事実は言えるが，考えを伝えることができない児童がいる。 <p>改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルカードを選び，提示することから始める。 ・自分の考えをしっかりと持たせる。 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葛藤場面を設定し，自分の考えはどちらなのかを判断させる。その時，根拠や理由を大切にし，「わからない」もよしとする。 ・文章を書く機会をできるだけ設け，自分の考えを書くための学習の手引きになる内容を，子どもの学力レベルに合わせて，口頭で伝えたり，プリントで導いたりすることを通して，自分の考えを書いたり話したりできるように指導していく。 <p>（中学年）</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視写，プリントの読解力などは，少しずつ身につけてきているが，十分なノート指導をする時間の余裕がない。 ・「話す」項目については，

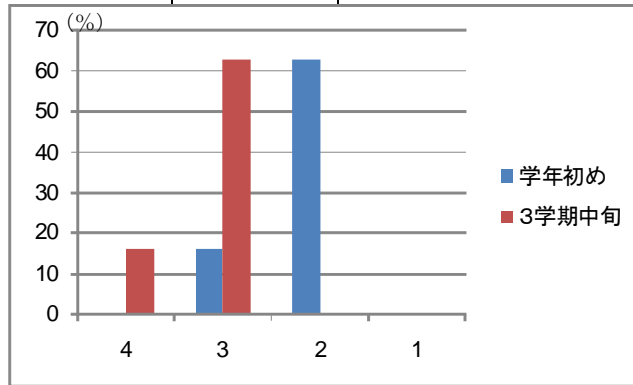
「話す・書く」の達成状況



				<p>人数が少ないので，合わそうとして，いろいろな意見が出ない。</p> <p>改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート指導に関する共通理解を図るための研修が必要である。例えば，ノートのひな形の作成等。 <p>(高学年)</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを持つことはできるが，根拠を明らかにすることが難しい。 ・比較的易しいものについては説明することができるが，複数の資料から導き出すことは苦手である。 ・あらかじめ準備していることに関してはうまく話することができるが，その場に応じて話し方や内容を精選したり，つけたすことが難しい。 ・読解力等考慮のプリントは，児童の自由選択ではなく，一斉での活用が望ましい。 <p>改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような教科でも必ず根拠を明らかにするような話ができるようにするために，まず，書く。 ・相手の話した内容をメモに取ったり，自分で書いたメモを見ながら話す。 ・グループでの話し合いの時間を多くもつ。 ・教科指導や特活領域の中にディベートを取り入れる。
<ul style="list-style-type: none"> ・相手の意見や考えをしっかりと聞き，互いの意見や考えを尊重し合える人間関係をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現力(「聞く」)を評価するためのチェックリストの評価を，個々の児童において，年度末には， 	4・③・2・1	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手の反応を見て話したり，話の要点のメモを取りながら聞いたりするなどの言語活動の充実を図る。 	<p>(低学年)</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のことは言えるが，なかなか人の話を聞き取る態度が育たない。 <p>改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いい姿勢で話を聞く。 <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し手の目を見て聞けるよ

年度当初よりも2ポイント以上上げる。

「聞く」の達成状況



うに指導する。
 ・一度で話を聞き取れるように指導する。話した内容が何であったか聞き返す。
 ・相手が意見を言ったとき、無反応ではなく、「いいです」「違います」等何らかの反応をする態度を身につけさせる。

(中学年)

課題

・総合学習の中で聞き取れることを学びつつある。
 ・メモを取ることが大分できるようになったが、個人差がある。

改善点

・メモを繰り返しチェックする必要がある。

(高学年)

課題

・聞き取りをするにあたって、重要なポイントがどこにあるかを判断する力が育っていない。

改善点

・話し合いの内容ををよく聞いて、それをまとめて話せるよう指導する。
 ・人の意見を聞いたら、それに対して、必ず意見を言うように指導する。
 ・話し合い活動でワークシートを活用する。

・読書に親しませるとともに、読書量や読書の質の向上を図る。

・表現力(「読む」)を評価するためチェックリストの評価を、個々の児童において、年度末には、年度当初よりも2ポイント以上上げる。

④・3・2・1

・昨年度のブックリストに新しいものを追加する。
 ・「読書ファイル」を活用することにより、自分の読書記録をつけ、読んだページ数やブックリストの冊数により、学期ごとに校内表彰をし、読書意欲を高める。
 ・「読み聞かせ」を推進したり「読書紹介朗読発表会」を学年毎に行うことにより読書に関心を持たせる。

(低学年)

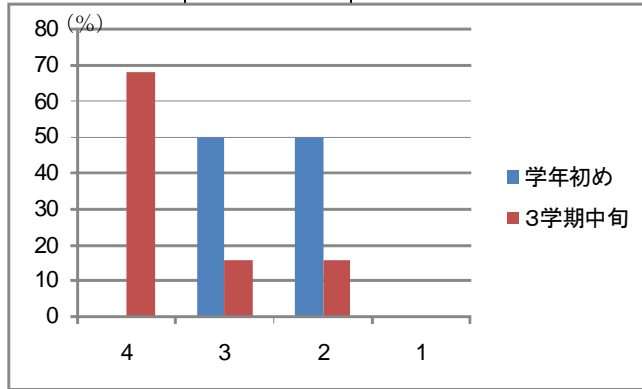
課題

・いろいろなジャンルの読書に親しむことがまだできていない。

改善点

・読書祭りで紹介された本に目を通す。
 ・ブックリストにのっている本を各学期に30冊以上読めるようにする。
 ・担任がいろいろなジャンルの本を読み聞かせて、そのおもしろさに気付かせ、興味を持たせるようにしていく。

「読む」の達成状況



・また、中学生との読み聞かせ交換会、地域の読書グループの方のお話会のような活動を今後も機会あるごとに続けていく。

(中学年)

課題

・読書好きでよく読んでいる児童も多いが、読書の記録をつけ忘れていた児童がいる。

改善点

・ページ数、冊数、評価だけでなく、感想も書かせてはどうか？

(高学年)

課題

・読書をするが、長続きしない。

・時間の過ごし方が多様化する中で、読書の時間を確保しようとする意欲を育てることは難しい。

・読書量に個人差が大きく、活字慣れしていない者の伸びが極端に低い。

改善点

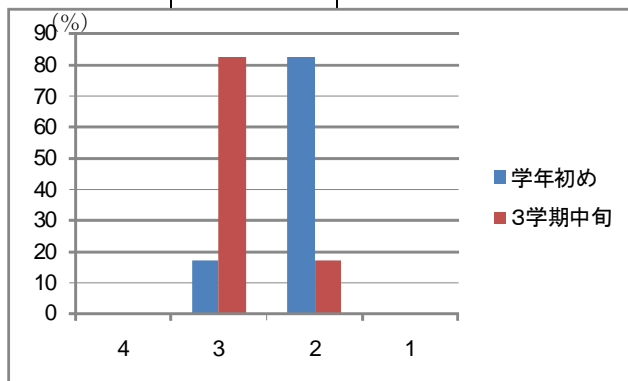
・学校活動の中で読書時間をできるだけ確保していく。

・現行のような朗読発表会を継続して行い、読書習慣を根気よくつけていくようにする。

(2) 学習状況について

重点目標： 基本的な生活習慣や学習習慣を身に付けさせる。				
具体的目標	数値目標	評価	具体的方策	現段階での課題と今後の具体的方策
<p>・「早寝」「早起」「あさごはん」「きもちのよいあいさつ」が実践できるようにしていく。</p>	<p>・生活チェックリスト「めざめ」の項目が、各個人でできるようにしたもののが3ポイント以上にする。</p>	<p>4・③・2・1</p>	<p>・生活チェックリスト「めざめ」を毎日つけ、養護教諭や担任が指導し、良い点は誉めて、基本的な生活習慣をつけていく。</p>	<p>(低学年)</p> <p>課題</p> <p>・大体の者は気持ちのよい挨拶ができてはいるが、「早寝・早起・朝ごはん」の実践ができていない児童がいる。</p> <p>改善点</p> <p>・保健指導（学級指導・保健委員会の活動）を継続していく。</p>

「早寝」「早起き」「あさごはん」「気持ちのよいあいさつ」の達成状況



・学年だより等を通して、家庭に啓発活動を行っていく。

(中学年)

課題

・生活チェックリスト「めざめ」のチェックはしているが、反省、自分の生活の見直しができていない。

改善点

できたとき認めてやる機会を何らかの形で設定していく。

(高学年)

課題

・月曜日や1時間目にあくびや姿勢の悪さが見られる。
 ・就寝時間が遅い者、朝ご飯を十分にとれていない者、規則正しい生活が送れていない者などがいる。

改善点

・生活を見直す時間を毎日少しずつ取る。(「めざめ」のチェック以外で)
 ・保健指導で体の成長にこの項目の必要性の学習を取り入れる。
 ・保護者への啓発が必要である。

・好き嫌いなくバランスのよい食事ができるようにしていく。

・1回の食事で6栄養素が取れるようにする。

4・③・2・1

・給食指導や食育指導を通して食の大切さを子どもたちに教えていく。
 ・農作物を作って、食べる体験活動を通して、食農教育を進めていく。

(低学年)

課題

・嫌いなもののある児童もいるが、少しずつ食べられるようになってきている。

改善点

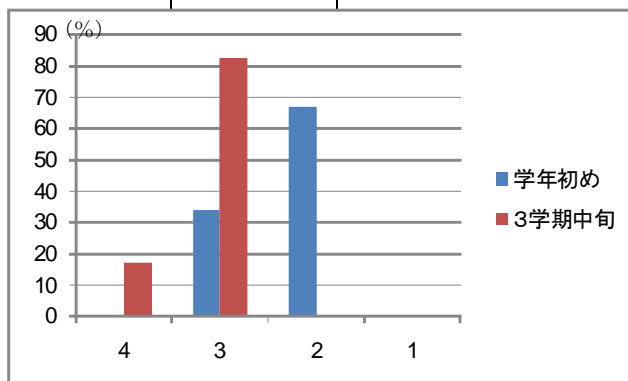
・日々の給食指導で少量でもいいから、口にしていけるようにする。
 ・自分たちで野菜を育て、それをみんなで料理する体験を通して、野菜が楽しく食べられるようになりつつあるが、このような体験を今後も継続していくようにする。

(中学年)

課題

・農作物を作るという体験が

「バランスのよい食事」の達成状況

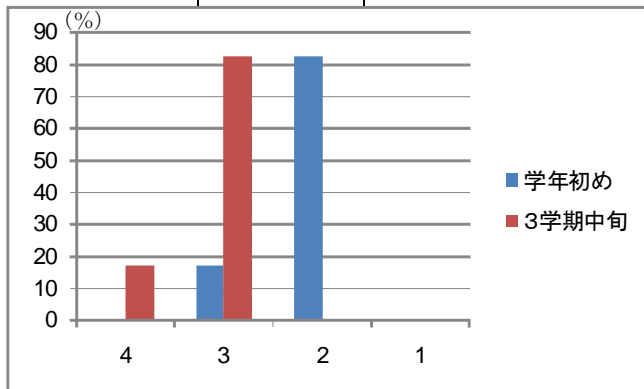


				<p>少なかった。</p> <p>改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年で推奨する作物を決めておいてはどうだろうか？ <p>(高学年)</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 食べられるよう努力しており，好き嫌いは少ない。 <p>改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭科の内容を充実させる。 休日の食事についても考えさせる。 給食指導を通して克服しようとしているため，今後も指導を継続していくようにする。
--	--	--	--	--

<p>・学習用具を忘れないようにしていく。</p>	<p>・毎日の忘れ物を1つ以下にする。</p>	<p>4・③・2・1</p>	<p>・学習活動にとって学習用具が必要なことを自覚させ，忘れ物がないうちに称賛していく。</p>
---------------------------	-------------------------	----------------	--

<p>(低学年)</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> よく忘れる子どもが減りつつあるが，まだ，忘れ物は見られる。 <p>改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎日，忘れ物チェックをし，できた場合は評価し，できていない場合は指導をする。 「忘れ物0回賞」や「忘れ物なしがんばり賞」などを通して，子どものがんばりを認めていく。

「学習用具を忘れない」の達成状況



<p>(中学年)</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習用具を忘れることが多い。 周りがすぐ貸してくれるため，困った体験ができていない。 <p>改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> 連絡帳を見て，時間割をするよう，毎日声かけをする。

<p>(高学年)</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> できている児童が多いが，厳しく指導しても，忘れ物がない状態を継続できない児童が存在する。 <p>改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> 「あゆみ」に忘れ物の項目を入れ，活用する。
--

				<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの整理整頓を常時行わせる。 ・馴れ合いになっってしまうず、日々の指導を続けていく。
<p>・宿題（家庭学習）がきちんとできるようにしていく。</p>	<p>・宿題が毎日提出できるようにする。</p>	<p>4・③・2・1</p>	<p>・家庭学習の大切さを子どもたちに話し、家庭学習がきちんとできたとき称賛していく。</p>	<p>（低学年）</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちは毎日宿題をしてくることを自覚してきており、忘れることは少なくなっ <p>改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々、してきているかチェックを、きちんとしてきたことに対して声かけをしたり、スタンプを押したりしてできたことを認めていく。 ・毎日チェックして、できていない子どもは指導したり、学校でできるものは空き時間にさせたりして、宿題忘れをしない指導を今後も続けていく。 <p>（中学年）</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習は、かなりよくできているが、したものを忘れることがある。 ・自主勉強がなかなか定着しない。 <p>改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日、宿題を入れるよう声かけをしている。 ・その日すべきことは、日々指導していく。 <p>（高学年）</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決められた宿題はできるが、自主学習が不十分である。 ・自主学習が中心だが、家庭学習の大切さの自覚はできつつある。しかし、個人差が大きい。 ・放課後指導が重要だが、本校の現状では難しい。 <p>改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よい自主学習のノートを参考にする。 ・継続できるように、できたことを賞賛する。

「家庭学習提出」の達成状況

